

曾井のいろはもみじ

自然がいっぱいの曾井の街、北方向には広大な里山が広がっています
戦中、戦後のしばらくはこの里山で米づくり、養蚕、みかん、山林では焚き木づくり
と生活の拠点となっていた。

しかし、こうした生活が懐かしくなると同時に草木が生い茂り、その保全管理
に労力をかけなければならなくなってきた。

こうした現状をふまえた時、地域のボランティア組織、きらく会の会員によって
幹線道路に沿って「いろはもみじ」を植林することとした。

平成 21 年より 5 ヶ年かけて約 70 本の苗木を植える。圃場は肥沃地で生育に欠か
せない条件に恵まれ、大きく生育したもみじが、11 月下旬から 12 月上旬にかけて紅
葉のピークを迎える。この地域は夜間の冷え込みが少なく、テレビなどで映しだされる
ような赤色が表現できず、又、樹木の強弱もあって一斉に色がつかないのは残念ですが、
例年この時期になりますと癒しを求め、健康のための散策に訪れられる人を多くみかけ
ます。

現地にはお休み処の設備はありますがトイレの設備がありません。ご注意の上、楽し
まれることをお願いします。

世の中では、新型コロナ禍で大変なところですがこうした大自然の中で癒され、明日
の活力が生まれるのではないのでしょうか

尚、こうしたもみじ林の下草刈り、病害中の防除を含め、すべての管理作業は、曾井
里山を守る会の会員が日々努力いただいたお陰と感謝します。

